



参考資料

【目次】

参考資料	43
1 計画の基礎となる資料	45
資料1 北海道みどりの基本方針（概要版）	45
資料2 帯広市のみどりに関するアンケート調査結果概要	47
資料3 みどりの現況調査の結果	64
2 補足資料	74
資料4 都市公園等の種類	74
資料5 みどりの関連計画等の概要	75
資料6 緑化重点地区	80
資料7 みどりの経過	81
緑化審議会	83



1 計画の基礎となる資料

資料1 北海道みどりの基本方針（概要版）

北海道みどりの基本方針について

第一章 北海道みどりの基本方針の概要

目的と位置づけ

- 「北海道広域緑地計画」は、道が平成13年に策定し、目標年を平成30年としていることから、社会情勢の変化を踏まえ、これまでの「量の確保」に加えて、多面的な利活用を図る「質の向上」に重点を置き「北海道みどりの基本方針」と改題して改訂するものです。
本方針は、道内都市圏における、緑地の保全や緑化の推進等に係る方向性を示し、都市の「みどり」の質の向上や有効活用を図って、道民の健康で文化的な都市生活を確保することを目的としています。
また、一の市町の区域を越えた広域の見地から配置する広域公園の配置方針や市町が「都市計画マスタープラン」や「緑の基本計画」を策定する際の指針となるものです。

対象期間

- 長期的な方針として策定するものとし、計画期間を定めない
※ おおむね10年後に見直しの要否を検討

対象とする「みどり」

- 都市緑地法に基づく「緑地」
 - ・ 施設緑地（都市公園、公共、民間施設緑地）
 - ・ 地域制緑地（法、協定、条例等によるもの）

第二章 都市のみどりの現状と課題

みどりの現状

- 緑地総体では、現計画での確保目標をおおむね達成
(都市計画区域に占める面積割合)
目標：約32% 現況：約31%

みどりの課題

- 緑地が持つ防災や福祉などの多面的な機能の活用が必要
- 広域公園がなく、道民への均等なサービスの提供ができていない地域が散在
- 限られた人員での公園等のきめ細かな維持管理等

今後の目標

- これまでの公園等緑地の「量の確保」に加えて緑地が持つ防災などの多面的な機能を活用する「質の向上」を重視
- これからの「みどり」のあり方を示す「方針」を定める

第三章 これからの都市のみどりのあり方

方針 1

みどりのストック効果を高めるマネジメントの実践
 ～みどりが持つストック効果の創出
 ～グリーンインフラに関する取組の推進
 ～都市公園等の戦略的配置とネットワーク化

方針 2

官民連携によるみどりマネジメントの実践
 ～多様な主体によるみどりの管理運営強化

方針 3

柔軟に使いこなす都市公園等マネジメントの実践
 ～子育て支援や福祉などさまざまな視点で都市公園等を使いこなす

第四章 推進すべき施策

施策 1

市町における緑の基本計画の充実化、高度化

施策 2

公園施設等長寿命化計画への積極的な取組

施策 3

各種制度等の戦略的な活用
 ～都市計画制度、PPP/PFI～



第五章 道が整備する広域公園の基本的な考え方

■ 広域公園の現況

整備状況	整備水準	利用状況
◆ 目標：19箇所 実績：12箇所	◆ 目標：3.0㎡/人 実績：2.6㎡/人	◆ 人口減少下でも、利用者数は年々増加 H29年度350万人

■ 広域公園の課題

- 1 社会情勢の変化【少子高齢化、人口減少、人口の一極集中】
- 2 都市公園の役割の多様化【子育て支援機能、防災機能、インバウンド観光などのニーズ】
- 3 道民への均衡あるサービスの提供
- 4 公園施設の老朽化対策及び維持保全

■ 広域公園の基本方針

- 1 広域公園の役割**
広域圏における利用者のレクリエーション需要に加えて、社会情勢の変化により新たなニーズとして期待される子育て支援機能、防災機能などの地域ごとのニーズに応えることにより、道民の四季折々の豊かな地域生活を支える
- 2 配置**
現計画の配置基準（誘致圏：標準60km）、配置計画（17地域に19箇所）を継承する
- 3 整備**
目標面積や目標水準などの数値目標は定めず、様々な工夫をしながら、面積規模にとらわれない柔軟な整備を進める
- 4 管理運営**
管理運営方針に基づいて、公園のサービスを継続、充実を図る

○ 広域公園の計画内容の比較

区 分	(旧) 北海道広域緑地計画	(現) 北海道みどりの基本方針
広域公園の整備目標		
目標総面積	約2,000ha	—
目標水準	3.0㎡/人	—
配置基準		
目標面積	約100ha/箇所	—
誘致圏	標準60km	標準60km
配置計画		
圏域区分	6圏域	6圏域
地域区分	17地域	17地域
箇所数	19箇所	19箇所



資料2 帯広市のみどりに関するアンケート調査結果概要

アンケート実施概要

① 目的

みどりの基本計画の策定に際し、多様化する市民ニーズや市民の課題意識などを把握することを目的に実施。

② 調査方法

対象地域 : 帯広市内

対象者 : 満20歳以上の帯広市民

標本数 : 2,500人

標本抽出方法 : 層化3段無作為抽出法

[市内7地区(東地区・鉄南地区・西地区・川北地区・西帯広地区・南地区・農村地区)の男女別、年齢別比率を適用]

調査方法 : 郵送による発送・回収

③ 実施期間

2019(平成31)年4月中旬～2019(令和元)年5月上旬

④ 有効回答数

966件(回収率38.6%)



アンケート調査設問内容

設 問	
はじめに、あなたご自身のことについてお聞きします。	
Q1	性別
Q2	年齢
Q3	職業
Q4	家族構成
Q5	居住形態
Q6	帯広市の在住年数
帯広市のみどりについて	
Q7	帯広市のみどりについて、それぞれの項目から当てはまるものを1つずつ選んでください。
Q8	今後、帯広市内において、主にどこのみどりを増やした方がいいと思いますか。(3つまで)
Q9	今、帯広市内に存在するみどりのうち、特に減らさない方がいいと思う場所はどこですか。(3つまで)
Q10	身近な公園樹木や街路樹の「管理」について、優先してほしいことは何ですか。該当する箇所に“○”をつけてください。(それぞれ3つまで)
Q11	身近な公園樹木や街路樹を守り育てるため、具体的にどのような取り組みが有効だと考えますか。(複数選択可)
帯広市内の公園について	
Q12	帯広市内全体の公園の数について、あなたの考えに近いものを選んでください。(1つ選択)
帯広市内の代表的な公園についてお聞きします。	
Q13	最近利用したことがある公園は以下の中にありますか？ 複数ある場合は最も多く利用した公園を選んでください。(1つ選択)
Q14	帯広市内の代表的な公園には、どのような施設があれば更に利用が増えると思いますか。(3つまで)
あなたの身近な公園についてお聞きします。	
Q15	身近な公園が、普段から市民の交流や遊びの場などに活用されていると思いますか。(1つ選択)
Q16	Q15で③、④を選んだ方にお聞きします。 身近な公園が活用されていない理由は何だと思いますか。(複数選択可)
Q17	身近な公園を利用する場合、主にどのような目的で利用しますか。 (複数選択可)



設 問	
Q18	魅力的な公園があったら、どの位の遠さまで「徒歩や自転車」で行ってもいいと思いますか。(1つ選択)
Q19	公園に必要となる施設は何だと思えますか。番号に“○”をつけてください。(複数選択可) また、○をつけた施設のうち、最も必要だと思う施設の番号を下の欄に記入してください。
Q20	これからの公園は、どのような利用者に配慮し、使いやすくしていくべきだと思いますか。(1つ選択)
Q21	公園遊具には様々な種類があります。「公園にあったらいいな」と思う遊具の種類に1位から4位まで順位を付けてください。
みどりとの関わりについて	
Q22	この1年間で参加・実施した活動に“○”をつけてください。(複数選択可)
Q23	Q22で“○”を1つ以上つけた方にお聞きします。 活動に参加・実施したきっかけは何ですか。(複数選択可)
Q24	Q22で“○”をつけなかった方にお聞きします。 活動に参加・実施しなかった理由は何ですか。(複数選択可)
Q25	公園などで参加したいと思うイベントは何ですか。(3つまで)
Q26	みどりとの触れ合いや関わりにより、どのような効果があると思えますか。(複数選択可)
Q27	帯広市のみどりづくりやみどりのイベントに、どのようなことを期待しますか。(複数選択可)
Q28	帯広市の管理するみどりについて、あなたが知りたいことはどんなことですか。(複数選択可)
Q29	将来の帯広市のみどりについて、あなたの考えに近いものを選んでください。(複数選択可)
Q30	帯広市のみどりのまちづくりに対するあなたのご意見、ご提案がございましたら記載してください。



アンケート調査結果（※結果詳細については、帯広市ホームページを参照）

【地区区分】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	東地区	88	9.1
2	鉄南地区	115	11.9
3	西地区	257	26.6
4	川北地区	125	12.9
5	西帯広地区	145	15.0
6	南地区	193	20.0
7	農村地区	43	4.5
	全体	966	100.0

【配布数】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	回収数	966	38.6
2	未回収数	1,534	61.4
3	配布数	2,500	100.0

Q 1【性別】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	男性	435	45.0
2	女性	530	54.9
	未回答	1	0.1
	全体	966	100.0

Q 2【年齢】

No.	項目	回答数	割合（％）
1	20～29歳	61	6.3
2	30～39歳	110	11.4
3	40～49歳	146	15.1
4	50～59歳	152	15.7
5	60～69歳	203	21.0
6	70歳以上	294	30.5
	未回答	0	0.0
	全体	966	100.0



Q 3【職業】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	会社員・店員・従業員	329	34.1
2	商・工・サービス業等の自営業	49	5.1
3	農・林・漁業	19	2.0
4	公務員	53	5.5
5	主婦（夫）	192	19.9
6	学生	3	0.3
7	無職・退職	243	25.1
8	その他（自由記述）	73	7.5
	未回答	5	0.5
	全体	966	100.0

Q 4【家族構成】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	一人暮らし	149	15.4
2	夫婦のみ	339	35.1
3	親子二世帯（自分と子）	307	31.8
4	親子二世帯（親と自分）	100	10.4
5	三世帯（親と子と孫）	34	3.5
6	その他（自由記述）	35	3.6
	未回答	2	0.2
	全体	966	100.0

Q 5【居住形態】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	持ち家（一戸建て）	657	68.0
2	借家（一戸建て）	65	6.7
3	分譲マンション	6	0.6
4	賃貸マンション・アパート	158	16.4
5	社宅・寮	23	2.4
6	公営住宅（市営住宅・道営住宅など）	43	4.5
7	その他（自由記述）	13	1.3
	未回答	1	0.1
	全体	966	100.0



Q 6【帯広市での在住年数】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	1年未満	29	3.0
2	1年～5年未満	98	10.1
3	5年～10年未満	52	5.4
4	10年～20年未満	104	10.8
5	20年以上	683	70.7
	全体	966	100.0

Q 7-1【あなたの住まいのまわりのみどりの豊かさ】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	豊か	279	28.9
2	どちらかといえば豊か	499	51.6
3	どちらかといえば豊かではない	133	13.8
4	豊かではない	32	3.3
	未回答	23	2.4
	全体	966	100.0

Q 7-2【中心市街地（帯広駅周辺）のみどりの豊かさ】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	豊か	59	6.1
2	どちらかといえば豊か	396	41.0
3	どちらかといえば豊かではない	379	39.2
4	豊かではない	103	10.7
	未回答	29	3.0
	全体	966	100.0

Q 7-3【帯広のまち全体のみどりの豊かさ】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	豊か	165	17.1
2	どちらかといえば豊か	548	56.7
3	どちらかといえば豊かではない	196	20.3
4	豊かではない	35	3.6
	未回答	22	2.3
	全体	966	100.0



Q 8【帯広市内において、みどりを増やしてほしい場所】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	中心市街地（帯広駅周辺）	457	22.6
2	観光地周辺	244	12.1
3	学校・コミセンなどの公共施設	259	12.8
4	道路（街路樹・花など）	320	15.8
5	帯広の森	66	3.3
6	公園・緑地	396	19.6
7	住宅街	195	9.6
8	その他（自由記述）	49	2.4
	未回答	37	1.8
	全体	2,023	100.0

Q 9【帯広市内において、みどりを減らさない方がよい場所】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	中心市街地（帯広駅周辺）	372	15.8
2	観光地周辺	274	11.6
3	学校・コミセンなどの公共施設	275	11.7
4	道路（街路樹・花など）	328	13.9
5	帯広の森	355	15.1
6	公園・緑地	584	24.8
7	住宅街	126	5.4
8	その他（自由記述）	16	0.7
	未回答	24	1.0
	全体	2,354	100.0

Q 10-1【優先してほしい公園樹木の管理】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	高木の剪定（枝切り、枝おろし）	202	10.3
2	支障となる高木の伐採	183	9.4
3	混みあった樹木の間引き（間伐）	159	8.1
4	枯れ木、老木、生育不良の樹木の更新	350	17.9
5	樹種の変更	42	2.2
6	高木から低木への変更	50	2.6
7	枯れ枝の定期的な撤去	233	11.9
8	枯れ葉・落ち葉の清掃	267	13.7
9	歩道の植樹ますや芝生の草刈、除草	176	9.0
10	特に気にならない	104	5.3
11	その他（自由記述）	11	0.6
	未回答	176	9.0
	全体	1,953	100.0



Q 10-2【優先してほしい街路樹の管理】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	高木の剪定（枝切り、枝おろし）	383	16.8
2	支障となる高木の伐採	384	16.8
3	混みあった樹木の間引き（間伐）	110	4.8
4	枯れ木、老木、生育不良の樹木の更新	243	10.7
5	樹種の変更	66	2.9
6	高木から低木への変更	126	5.5
7	枯れ枝の定期的な撤去	191	8.4
8	枯れ葉・落ち葉の清掃	327	14.3
9	歩道の植樹ますや芝生の草刈、除草	295	12.9
10	特に気にならない	75	3.3
11	その他（自由記述）	22	1.0
	未回答	60	2.6
	全体	2,282	100.0

Q 11-1【公園樹木を守り育てるための取り組み】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	市民協働による草刈、除草などの強化	279	21.0
2	市内事業所などと連携した、清掃などのボランティア活動の促進	417	31.4
3	管理費用を確保するために、身近なみどりを対象とした寄附制度など資金的支援制度の創設	180	13.6
4	樹木の成長に応じて、歩道の植樹ますや樹木の配置を見直す（廃止）ことにより、管理の質を高める	246	18.6
5	その他（自由記述）	27	2.0
	未回答	177	13.4
	全体	1,326	100.0

Q 11-2【街路樹を守り育てるための取り組み】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	市民協働による草刈、除草などの強化	269	19.6
2	市内事業所などと連携した、清掃などのボランティア活動の促進	352	25.6
3	管理費用を確保するために、身近なみどりを対象とした寄附制度など資金的支援制度の創設	151	11.0
4	樹木の成長に応じて、歩道の植樹ますや樹木の配置を見直す（廃止）ことにより、管理の質を高める	479	34.9
5	その他（自由記述）	20	1.4
	未回答	103	7.5
	全体	1,374	100.0



Q 12【帯広市全体の公園の数】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	公園の数は多い	100	10.4
2	公園の数は少ない	213	22.0
3	公園の数はちょうど良い	605	62.6
	未回答	48	5.0
	全体	966	100.0

Q 13【最近利用したことがある公園】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	中央公園	37	3.8
2	南公園（とちちプラザ南側）	41	4.2
3	緑ヶ丘公園	384	39.8
4	十勝川・札内川の河川敷	64	6.6
5	帯広の森	80	8.3
6	利用していない	256	26.5
7	1～6以外（公園名： ）	59	6.1
	未回答	45	4.7
	全体	966	100.0

Q 14【更に利用者が増えるための施設】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	カフェなどの飲食施設	326	18.3
2	新しい児童遊具	219	12.3
3	休憩用のベンチやあずまや	405	22.7
4	健康遊具	177	9.9
5	コンビニエンスストア・売店	115	6.4
6	屋内遊戯施設や休憩所	276	15.5
7	今のままでよい	149	8.4
8	その他（自由記述）	84	4.7
	未回答	33	1.8
	全体	1,784	100.0

Q 15【身近な公園が普段から活用されているか】

No.	項目	回答数	割合 (%)
1	活用されている	208	21.5
2	どちらかといえば活用されている	385	39.9
3	どちらかといえば活用されていない	249	25.8
4	活用されていない	97	10.0
	未回答	27	2.8
	全体	966	100.0



Q 16【身近な公園が活用されていない理由】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	魅力的な施設（遊具、運動施設）がないから	150	25.0
2	ベンチやあずまやなどの休憩施設がないから	103	17.1
3	規制が多いから	18	3.0
4	十分な広さがないから	40	6.7
5	イベントがあまりないから	91	15.1
6	手入れがされていないから	84	14.0
7	近くに子どもが住んでいないから	64	10.7
8	その他（自由記述）	43	7.2
	未回答	7	1.2
	全体	600	100.0

Q 17【身近な公園を利用する目的】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	遊び（遊具）	167	9.3
2	遊び（遊具以外）	75	4.2
3	休憩	183	10.2
4	散歩	500	27.9
5	運動	173	9.6
6	動植物観察	93	5.2
7	犬の散歩	89	5.0
8	トイレ	103	5.7
9	町内会行事	217	12.1
10	公園を利用する機会がない	142	7.9
11	その他（自由記述）	28	1.6
	未回答	23	1.3
	全体	1,793	100.0

Q 18【徒歩や自転車で行ってもいいと思う距離】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	250m	95	9.8
2	500m	302	31.2
3	1 km	368	38.1
4	2 km	132	13.7
5	その他（ ）	26	2.7
	未回答	43	4.5
	全体	966	100.0



Q 19-1 【公園に必要となる施設】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	児童遊具	304	8.4
2	ベンチ	403	11.2
3	日かけ・休憩所	623	17.3
4	トイレ	628	17.4
5	水飲み場	351	9.7
6	広場	126	3.5
7	ボール遊びスペース	128	3.5
8	樹木	229	6.3
9	芝生	306	8.5
10	花壇	160	4.4
11	時計	169	4.7
12	健康遊具	115	3.2
13	その他（自由記述）	31	0.9
	未回答	37	1.0
	全体	3,610	100.0

Q 19-2 【公園に最も必要となる施設】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	児童遊具	109	11.3
2	ベンチ	57	5.9
3	日かけ・休憩所	206	21.3
4	トイレ	304	31.5
5	水飲み場	15	1.6
6	広場	18	1.9
7	ボール遊びスペース	15	1.6
8	樹木	31	3.2
9	芝生	33	3.4
10	花壇	21	2.2
11	時計	14	1.4
12	健康遊具	31	3.2
13	その他（自由記述）	13	1.3
	未回答	99	10.2
	全体	966	100.0



Q 20 【どのような利用者に配慮し、使いやすくしていくべきか】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	幼児・児童	247	23.5
2	家族連れ	358	34.1
3	企業・会社	8	0.8
4	高齢者	286	27.2
5	運動する人	52	4.9
6	観光客	14	1.3
7	その他（自由記述）	17	1.6
	未回答	69	6.6
	全体	1,051	100.0

Q 21-1 【あったらいいなと思う多機能複合遊具の順位】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	1 位	408	42.2
2	2 位	214	22.2
3	3 位	154	15.9
4	4 位	97	10.1
	未回答	93	9.6
	全体	966	100.0

Q 21-2 【あったらいいなと思う単機能遊具の順位】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	1 位	77	8.0
2	2 位	206	21.3
3	3 位	351	36.3
4	4 位	220	22.8
	未回答	112	11.6
	全体	966	100.0

Q 21-3 【あったらいいなと思う運動/健康遊具の順位】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	1 位	192	19.9
2	2 位	167	17.3
3	3 位	173	17.9
4	4 位	325	33.6
	未回答	109	11.3
	全体	966	100.0



Q 21-4【あったらいいなと思う木製遊具の順位】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	1 位	188	19.5
2	2 位	269	27.8
3	3 位	179	18.5
4	4 位	218	22.6
	未回答	112	11.6
	全体	966	100.0

Q 22【1年間で参加・実施した活動】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	公園や河川敷、道路などでの花植えや清掃	155	10.2
2	公園の草刈や、帯広の森での森づくり活動	71	4.7
3	勤め先の企業での花植えや清掃などの緑化活動	92	6.0
4	みどり保全のための募金（緑の募金など）や寄附	61	4.0
5	みどりづくりや保全などに関わるイベントや、活動の運営	18	1.2
6	ガーデニングや植物に関する講習会	21	1.4
7	公園や帯広の森で開催されたイベント	90	5.9
8	個人で庭や菜園づくり	412	27.1
9	ベランダや室内での植物の育成	292	19.2
	未回答	308	20.3
	全体	1,520	100.0

Q 23【活動に参加・実施したきっかけ】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	友人や知人からの情報やお誘い	92	11.8
2	学校や会社など	85	10.9
3	みどりに関する団体からのお知らせ	25	3.2
4	広報おびひろ	70	9.0
5	新聞の記事など	41	5.3
6	インターネットなどSNSの情報	12	1.5
7	テレビ・ラジオ	8	1.0
8	お店に掲載されているチラシ、ポスター	19	2.4
9	もともと関心があったから	264	33.9
10	その他（ ）	119	15.3
	未回答	44	5.7
	全体	779	100.0

Q 24 【活動に参加・実施しなかった理由】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	参加する時間がない	134	24.7
2	興味が無い、気が進まない	73	13.4
3	参加する仲間がいない	73	13.4
4	肉体的な負担が大きい	45	8.3
5	精神的な負担が大きい	13	2.4
6	思うような結果・効果が期待できない	9	1.7
7	その他 ()	25	4.6
8	実施していることを知らなかった	119	21.9
	未回答	52	9.6
	全体	543	100.0

Q 25 【公園などで参加したいイベント】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	マルシェやお祭りなど	531	27.0
2	スポーツに関するイベント	151	7.7
3	花いっぱいのイベント	269	13.7
4	動植物観察などの自然体験イベント	217	11.1
5	子どもの自然遊びや環境教育イベント	171	8.7
6	体操やヨガなど健康づくり講習会	169	8.6
7	フリーマーケット	173	8.8
8	音楽鑑賞や映画鑑賞	179	9.1
9	その他 ()	23	1.2
	未回答	80	4.1
	全体	1,963	100.0

Q 26 【みどりとの触れ合いや関わりによる効果】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	健康づくり	418	16.9
2	きれいな景観づくり	425	17.2
3	みどりを通じたコミュニティづくり	127	5.1
4	自然体験による教育的効果	229	9.2
5	みどりとの触れ合いによる福祉的效果	112	4.5
6	五感を使うことによるリフレッシュ効果	517	20.9
7	きれいな花や樹木から感性を養う効果	415	16.8
8	食用の植物を育てることによる、食の楽しみや経済的效果	166	6.7
9	その他 ()	5	0.2
10	わからない	21	0.8
	未回答	41	1.7
	全体	2,476	100.0



Q 27 【みどりづくりやみどりのイベントに期待すること】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	自然やみどりを知る	377	19.6
2	人と人との交流	352	18.3
3	健康づくり	282	14.6
4	環境学習、社会体験の場	210	10.9
5	植物の育て方を学ぶ	193	10.0
6	植物の活用法を学ぶ(料理・植物を利用した小物づくりなど)	133	6.9
7	みどりのまちづくりへの貢献	251	13.0
8	その他	14	0.7
9	わからない	65	3.4
	未回答	49	2.6
	全体	1,926	100.0

Q 28 【帯広市の管理するみどりについて知りたいこと】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	樹木や花の育て方など植物に関すること	253	15.7
2	公園の施設情報	271	16.9
3	公園のイベント情報	319	19.9
4	公園の使い方	107	6.7
5	公園や街路樹の管理方法	197	12.3
6	みどりに関するボランティア情報	97	6.0
7	帯広市におけるみどりの取り組み	231	14.4
8	その他 ()	31	1.9
	未回答	99	6.2
	全体	1,605	100.0



Q 29【将来のみどりについて考えに近いもの】

No.	項 目	回答数	割合 (%)
1	みどりを積極的に増やすよりは、今あるみどりを大切に守り育てる	363	14.1
2	市民や企業の協力により、さらにみどりを増やす	97	3.8
3	管理しやすい樹種を選ぶなど、効率的にみどりを育てる	329	12.8
4	管理の負担がかかっても、景観のよいみどりを優先する	41	1.6
5	子どもが利用しやすい公園やみどりを守り育てる	374	14.5
6	年代を問わず誰もが利用しやすい公園やみどりを守り育てる	598	23.2
7	きれいな樹木や花、鳥など、動植物を見て楽しめる公園やみどりを守り育てる	339	13.2
8	健康づくり、環境教育、お祭りなど、みどりを多様に活用する	220	8.5
9	動植物が生息・生育できるみどりのネットワークを守り育てる	159	6.2
10	その他 ()	14	0.5
	未回答	42	1.6
	全体	2,576	100.0

Q 30【帯広市のみどりのまちづくりに対する意見・提案（自由記述を抜粋して掲載）】

① 本市の景観について

- ・本市はみどり豊かであるが、花が少ない。
- ・桜や紅葉など、四季を楽しみたい。
- ・駅周辺の緑化をすすめてほしい。

② 街路樹の管理、安全面、種類について

- ・草刈の頻度を増やしてほしい。
- ・枯損木等の放置を改善してほしい。
- ・枝葉によって道路標識が見えなかったり、電線と接触しそうで危険である。
- ・落ち葉の飛散により住宅の掃除が大変であるため、落葉しない樹木を希望する。
- ・桜やイチョウなど、季節を感じられる樹木の植樹を希望する。
- ・花粉や樹液の影響が懸念される樹木は、植えるのを控えてほしい。



③ 公園について

○帯広の森

- ・各種イベントに参加し、現状に満足しているが、利用者やイベントの参加者が少ない。
- ・子どもが遊び、学べるような場所がほしい。

○緑ヶ丘公園

- ・園路や広場が、高齢者には歩きにくい。また、車いすやベビーカーが通りにくい。

○中央公園

- ・お祭りなどに活用してほしい。

○グリーンパーク

- ・休憩スペースや子ども向けの遊具などの設置を希望する。
- ・散歩ルートの整備を希望する。

④ 公園の整備について

- ・悪天候や冬期間でも利用可能な屋内遊戯施設を希望する。
- ・人が集えるようなカフェスペース、冬場も使用可能なトイレの整備をしてほしい。
- ・ドッグランやベンチなどの休憩スペースを増やしてほしい。
- ・時計を設置してほしい。

⑤ 公園の管理について

- ・木陰の役割を果たす木を強剪定していることにより、日陰が無くなっている。
- ・落ち葉の清掃が行き届いていない。
- ・管理を行う方が高齢化しているため、町内会、ボランティア、学生との協働による管理を希望する。

⑥ 公園の活用、みどりに関するイベントの開催について

- ・マルシェやスポーツ競技、記念植樹などのイベントを増やしてほしい。
- ・家族みんなで参加できるイベントを開催してほしい。
- ・子どもが自然に触れられるイベント・機会を増やすことで、教育にもつながる。

⑦ ごみの管理について

- ・落ち葉や枯れ葉の量が多く、掃除が大変である。
- ・郊外では、プラスチックごみが目立つ。

⑧ 観光について

- ・観光スポットとなる場所が少ない。
- ・遊びや憩いの場、悪天候でも利用可能な屋内施設が少なく、家族連れで楽しめるような場所がほしい。
- ・観光資源として、桜の名所をつくってほしい。



資料3 みどりの現況調査の結果

(1) 調査内容

公園緑地・街路樹等の量や配置などを把握し、2001（平成13）年調査時と比較した経年変化を整理しました。

調査項目	調査内容
①緑被率	2017（平成29）年観測の衛星画像から樹林地・草地の面積を求め緑被率を算出し、2001（平成13）年の調査結果と比較します。
②緑視率	道路の交差点や歩道における人の視界から写真撮影を行い、2018（平成30）年調査時の写真上におけるみどりの量を調査し、2001（平成13）年の調査結果と比較します。
③街路樹	2018（平成30）年度末時の計画地内の道路に植栽されている街路樹本数を集計し、2001（平成13）年度末時と比較するとともに、2018（平成30）年度末時における市道の樹種の構成を集計します。
④公園	2018（平成30）年度末時の公園の整備状況及び市民1人当たりの公園面積を集計し、1984（昭和59）年度・2001（平成13）年度末時と比較します。
⑤緑地率	緑地の分類項目ごとに2018（平成30）年度末時の緑地面積を集計し、2001（平成13）年度末時と比較します。

(2) 調査結果

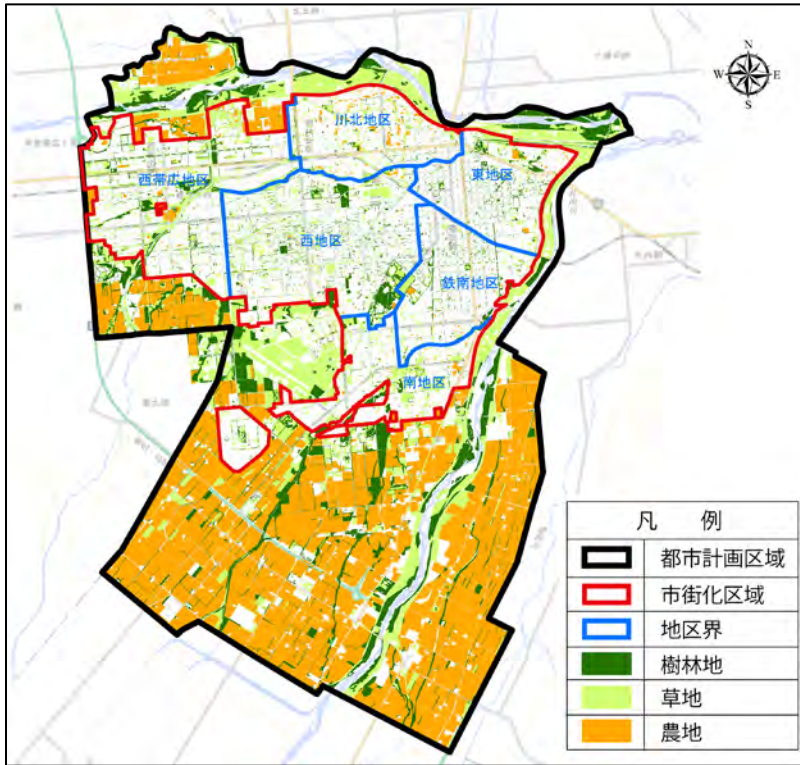
① 緑被率

土地利用の変化により、都市計画区域全体で農地が減少し、樹林地・草地の増加がみられました。特に、『帯広の森』区域に当たる西帯広地区の南部および南地区で農地が樹林地・草地に変化しています。

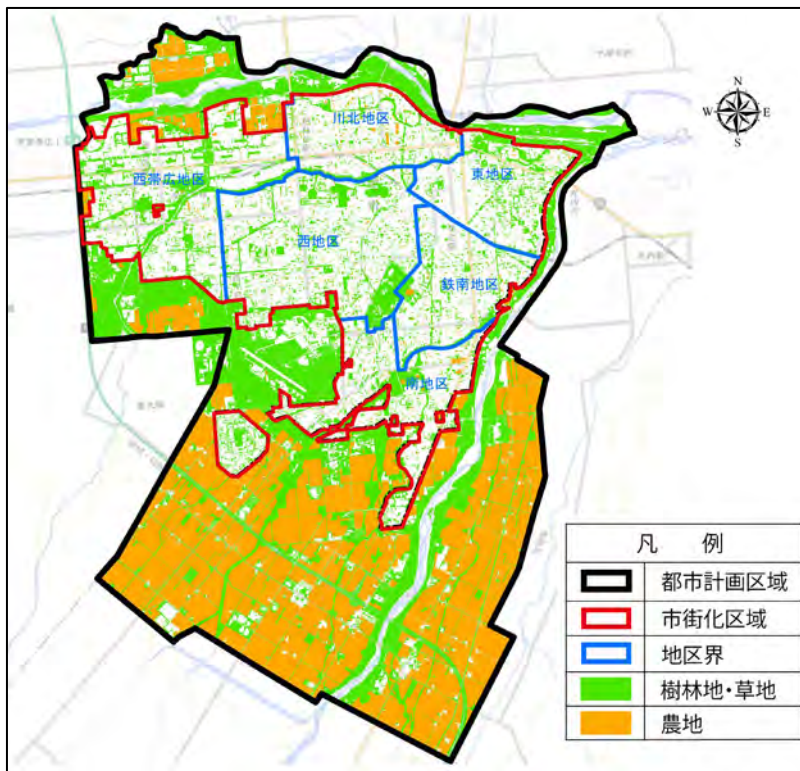
都市計画区域における緑被面積（樹林地・草地）は、2001（平成13）年と比較し約560haの面積増となっており、緑被率は29.03%でした。



[2001（平成 13）年の緑被分布図]



[2017（平成 29）年の緑被分布図]





[地区別緑被面積及び緑被率集計表]

地区別	区域面積 (ha)	樹林地・草地		農地		合計		
		面積 (ha)	緑被率	面積 (ha)	緑被率	面積 (ha)	緑被率	
川北地区	2001 (H13) 調査	486.00	62.11	12.78%	17.89	3.68%	80.00	16.46%
	2017 (H29) 調査	486.00	71.57	14.73%	10.93	2.25%	82.50	16.98%
	増減	-	9.46	1.95 pt	-6.96	-1.43 pt	2.50	0.52 pt
鉄南地区	2001 (H13) 調査	516.50	58.83	11.39%	4.37	0.85%	63.20	12.24%
	2017 (H29) 調査	516.50	78.02	15.11%	6.13	1.19%	84.15	16.29%
	増減	-	19.19	3.72 pt	1.76	0.34 pt	20.95	4.05 pt
西帯広地区	2001 (H13) 調査	934.00	186.70	19.99%	11.60	1.24%	198.30	21.23%
	2017 (H29) 調査	968.50	238.42	24.62%	6.58	0.68%	245.00	25.30%
	増減	-	51.72	4.63 pt	-5.02	-0.56 pt	46.70	4.07 pt
西地区	2001 (H13) 調査	1,050.00	198.27	18.88%	4.39	0.42%	202.66	19.30%
	2017 (H29) 調査	1,050.00	228.90	21.80%	6.60	0.63%	235.50	22.43%
	増減	-	30.63	2.92 pt	2.21	0.21 pt	32.84	3.13 pt
東地区	2001 (H13) 調査	493.50	64.48	13.07%	5.22	1.06%	69.70	14.12%
	2017 (H29) 調査	498.00	98.32	19.74%	2.39	0.48%	100.71	20.22%
	増減	-	33.84	6.67 pt	-2.83	-0.58 pt	31.01	6.10 pt
南地区	2001 (H13) 調査	603.00	100.82	16.72%	6.59	1.09%	107.41	17.81%
	2017 (H29) 調査	714.00	163.11	22.84%	10.91	1.53%	174.02	24.37%
	増減	-	62.29	6.12 pt	4.32	0.44 pt	66.61	6.56 pt
都市計画区域	2001 (H13) 調査	10,210.00	2,401.12	23.52%	3,231.48	31.65%	5,632.60	55.17%
	2017 (H29) 調査	10,210.00	2,964.40	29.03%	2,938.06	28.78%	5,902.46	57.81%
	増減	-	563.28	5.51 pt	-293.42	-2.87 pt	269.86	2.64 pt
市街化区域 (都市計画区域 - 市街化区域)	2001 (H13) 調査	4,083.00	671.21	16.44%	50.06	1.23%	721.27	17.67%
	2017 (H29) 調査	4,233.00	878.34	20.75%	43.54	1.03%	921.88	21.78%
	増減	-	207.13	4.31 pt	-6.52	-0.20 pt	200.61	4.11 pt

地区別	区域面積 (ha)	樹林地・草地		農地		合計		
		面積 (ha)	緑被率	面積 (ha)	緑被率	面積 (ha)	緑被率	
市街化調整区域 (都市計画区域 - 市街化区域)	2001 (H13) 調査	6,127.00	1,729.91	28.23%	3,181.42	51.92%	4,911.33	80.16%
	2017 (H29) 調査	5,977.00	2,086.06	34.90%	2,894.52	48.43%	4,980.58	83.33%
	増減	-150.00	356.15	6.67 pt	-286.90	-3.49 pt	69.25	3.17 pt

*地区別の集計値に市街化区域外は含めない。



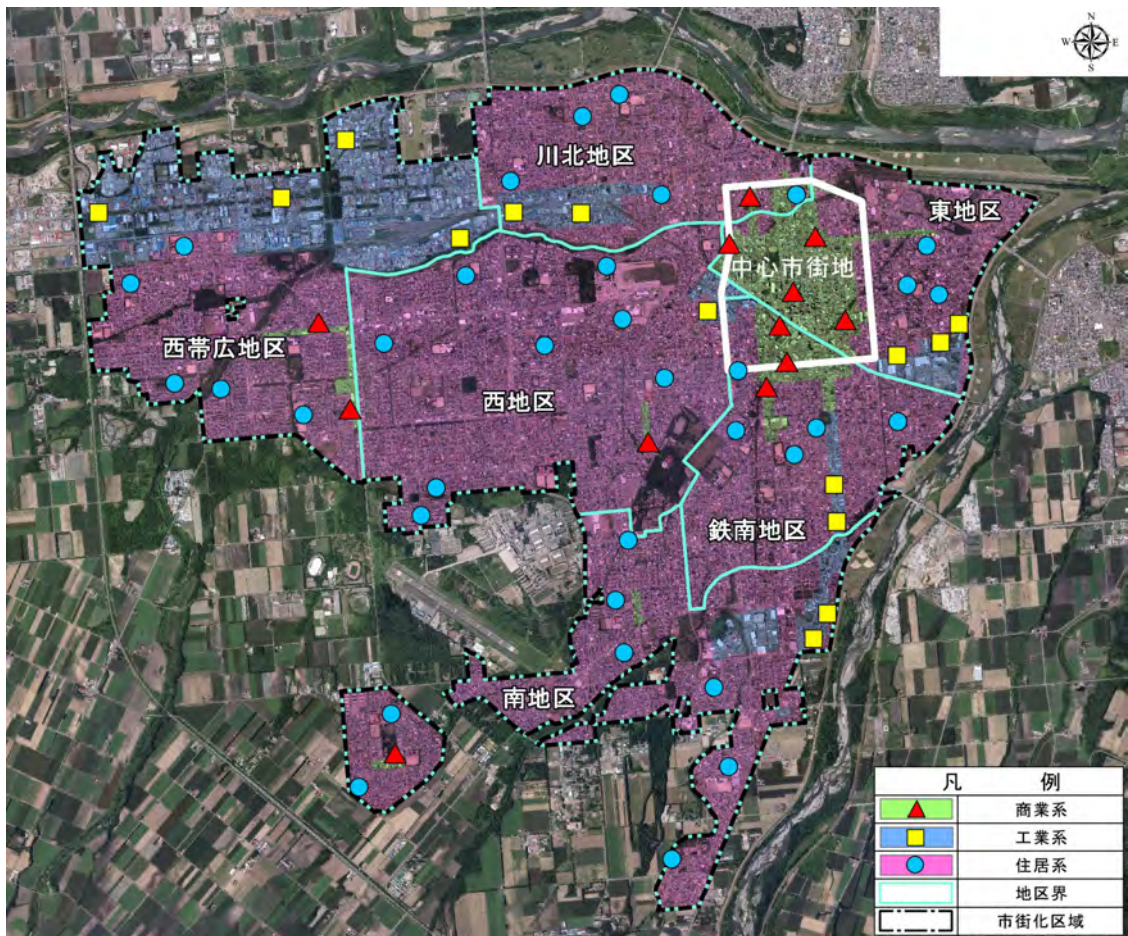
*2001 (平成13) 年調査値 = 樹林地・草地・農地の合計値



② 緑視率

市街化区域の平均緑視率は前回調査より 1.7%減少し、地区別の平均緑視率もすべての地区で減少していますが、中心市街地においては増加しています。

人が見てみどりを実感できる緑視率の数値は 30~40%とされており、全地区の全用途系において最大値は概ね満足している箇所がありました。最小値は小さく地区や用途系に関わらず箇所によってバラツキがみられました。





[地区別平均緑視率および最大・最小緑視率集計表]

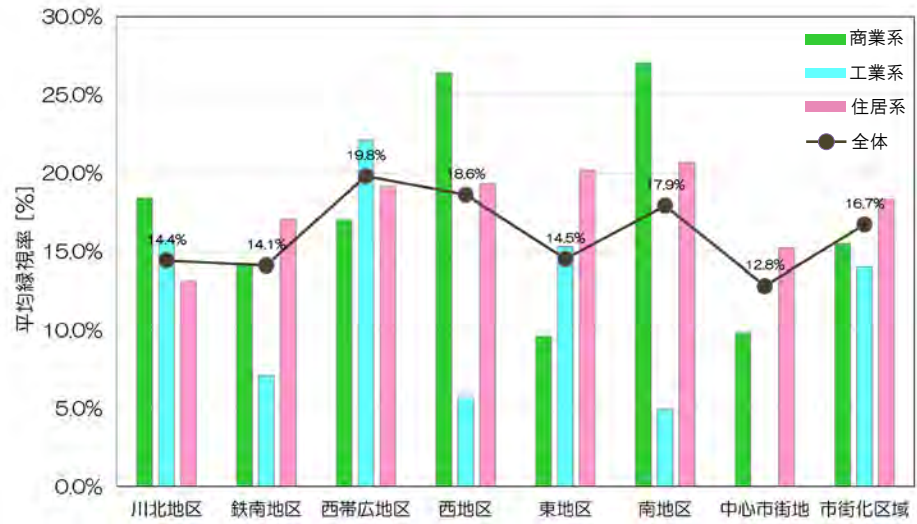
地区別			商業系				工業系			
			緑視率[%]			地点数 (箇所)	緑視率[%]			地点数 (箇所)
			平均	最大	最小		平均	最大	最小	
地区別	川北地区	2001 (H13) 調査	18.4%	34.3%	8.1%	1	15.7%	39.3%	1.6%	2
		2018 (H30) 調査	18.5%	27.1%	7.9%	1	7.8%	20.0%	0.4%	2
		結果	0.1%	-7.2%	-0.2%		-7.9%	-19.3%	-1.2%	
	鉄南地区	2001 (H13) 調査	14.2%	28.4%	3.3%	3	7.1%	25.7%	0.7%	2
		2018 (H30) 調査	11.4%	29.6%	2.0%	3	8.2%	20.8%	0.9%	2
		結果	-2.8%	1.2%	-1.3%		1.1%	-4.9%	0.2%	
	西帯広地区	2001 (H13) 調査	17.0%	35.1%	4.9%	2	22.1%	51.7%	0.5%	4
		2018 (H30) 調査	12.6%	40.6%	3.7%	2	26.4%	70.2%	1.6%	4
		結果	-4.4%	5.5%	-1.2%		4.3%	18.5%	1.1%	
	西地区	2001 (H13) 調査	26.4%	50.9%	3.6%	1	5.7%	9.3%	1.8%	1
		2018 (H30) 調査	17.4%	39.5%	4.5%	1	8.8%	21.6%	1.2%	1
		結果	-9.0%	-11.4%	0.9%		3.1%	12.3%	-0.6%	
	東地区	2001 (H13) 調査	9.6%	34.7%	0.4%	4	15.3%	43.7%	1.5%	3
		2018 (H30) 調査	11.6%	44.4%	1.9%	4	14.4%	35.0%	2.0%	3
		結果	2.0%	9.7%	1.5%		-0.9%	-8.7%	0.5%	
南地区	2001 (H13) 調査	27.0%	45.5%	4.4%	1	4.9%	10.8%	1.2%	2	
	2018 (H30) 調査	13.5%	34.6%	0.6%	1	2.4%	7.6%	0.9%	2	
	結果	-13.5%	-10.9%	-3.8%		-2.5%	-3.2%	-0.3%		
中心市街地	2001 (H13) 調査	9.8%	34.7%	0.4%	7	-	-	-	0	
	2018 (H30) 調査	12.9%	44.4%	1.9%	7	-	-	-	0	
	結果	3.1%	9.7%	1.5%		-	-	-		
市街化区域	2001 (H13) 調査	15.5%	50.9%	0.4%	12	14.0%	51.7%	0.5%	14	
	2018 (H30) 調査	12.9%	44.4%	0.6%	12	13.8%	70.2%	0.4%	14	
	結果	-2.6%	-6.5%	0.2%		-0.2%	18.5%	-0.1%		

地区別			住居系				全体			
			緑視率[%]			地点数 (箇所)	緑視率[%]			地点数 (箇所)
			平均	最大	最小		平均	最大	最小	
地区別	川北地区	2001 (H13) 調査	13.1%	52.0%	0.6%	5	14.4%	52.0%	0.6%	8
		2018 (H30) 調査	13.3%	40.8%	0.5%	5	12.4%	40.8%	0.4%	8
		結果	0.2%	-11.2%	-0.1%		-2.0%	-11.2%	-0.2%	
	鉄南地区	2001 (H13) 調査	17.0%	54.0%	3.0%	5	14.1%	54.0%	0.7%	10
		2018 (H30) 調査	17.8%	57.3%	1.1%	5	14.0%	57.3%	0.9%	10
		結果	0.8%	3.3%	-1.9%		-0.1%	3.3%	0.2%	
	西帯広地区	2001 (H13) 調査	19.1%	51.2%	1.3%	5	19.8%	51.7%	0.5%	11
		2018 (H30) 調査	16.7%	59.7%	0.7%	5	19.5%	70.2%	0.7%	11
		結果	-2.4%	8.5%	-0.6%		-0.3%	18.5%	0.2%	
	西地区	2001 (H13) 調査	19.3%	58.9%	0.7%	8	18.6%	58.9%	0.7%	10
		2018 (H30) 調査	13.1%	35.4%	0.8%	8	13.1%	39.5%	0.8%	10
		結果	-6.2%	-23.5%	0.1%		-5.5%	-19.4%	0.1%	
	東地区	2001 (H13) 調査	20.2%	41.1%	6.2%	3	14.5%	43.7%	0.4%	10
		2018 (H30) 調査	17.2%	51.9%	3.2%	3	14.1%	51.9%	1.9%	10
		結果	-3.0%	10.8%	-3.0%		-0.4%	8.2%	1.5%	
南地区	2001 (H13) 調査	20.7%	45.2%	3.0%	6	17.9%	45.5%	1.2%	9	
	2018 (H30) 調査	19.4%	68.3%	1.6%	8	15.7%	68.3%	0.6%	11	
	結果	-1.3%	23.1%	-1.4%		-2.2%	22.8%	-0.6%		
中心市街地	2001 (H13) 調査	15.2%	31.6%	0.4%	2	12.8%	34.7%	0.4%	9	
	2018 (H30) 調査	19.3%	43.3%	2.4%	2	14.3%	44.4%	1.9%	9	
	結果	4.1%	11.7%	2.0%		1.5%	9.7%	1.5%		
市街化区域	2001 (H13) 調査	18.3%	58.9%	0.6%	32	16.7%	58.9%	0.4%	58	
	2018 (H30) 調査	16.2%	68.3%	0.5%	34	15.0%	70.2%	0.4%	60	
	結果	-2.1%	9.4%	-0.1%		-1.7%	11.3%	0.0%		

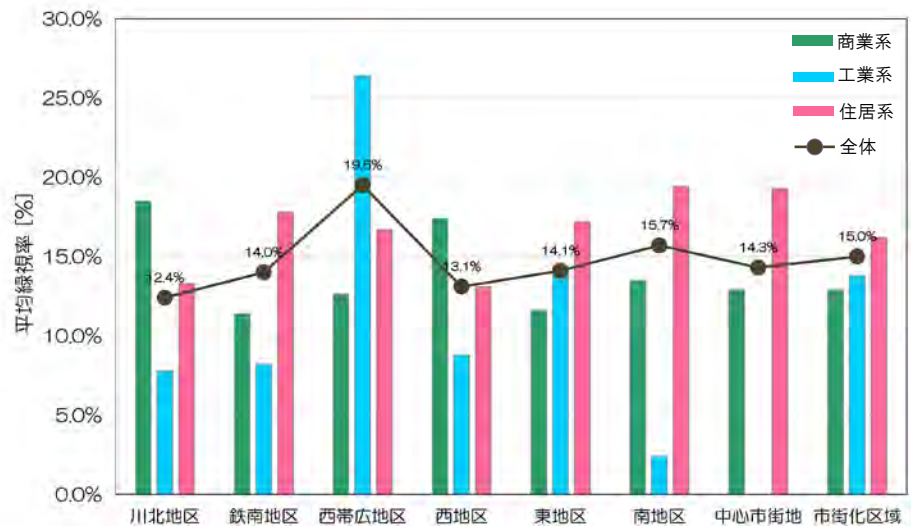


・ 2001（平成 13）年・2018（平成 30）年調査地区別平均緑視率グラフ比較

[2001（平成 13）年]



[2018（平成 30）年]

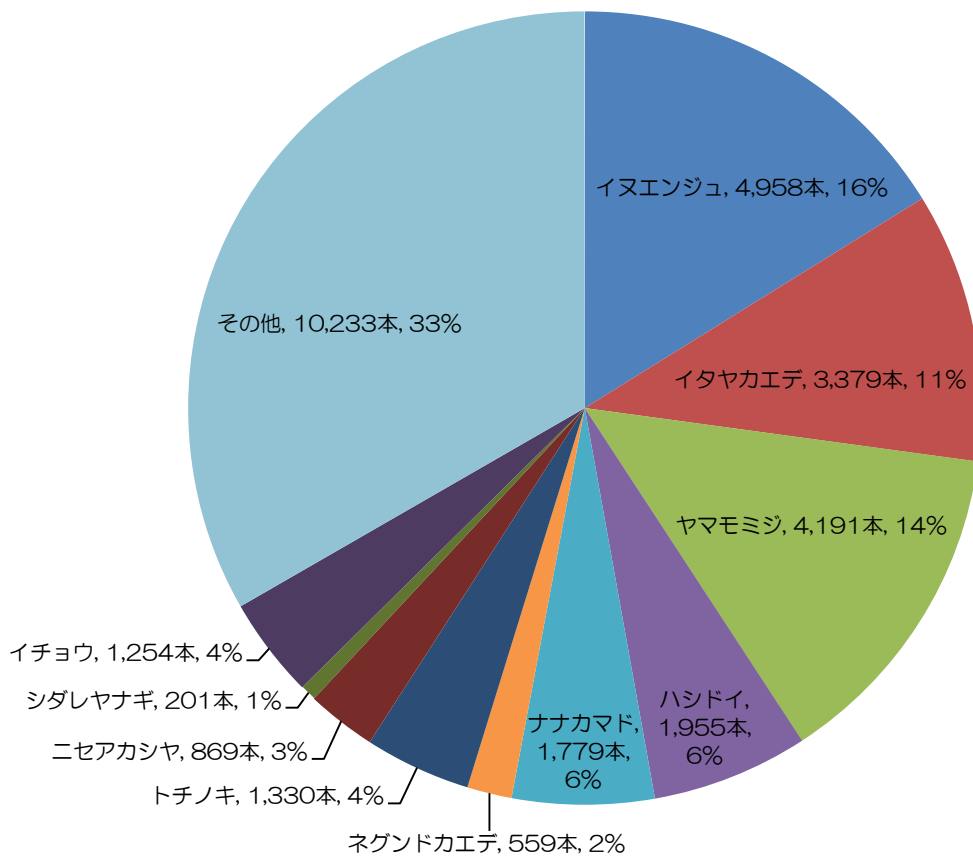




③ 街路樹

	道路種別	植栽本数（本）	
		2001（平成13）年度	2018（平成30）年度
市街化区域内	国道	2,700	2,511
	道道	4,900	3,193
	市道	29,783	30,708
	合計	37,383	36,412

市道の樹種構成





④ 公園

・帯広市の公園整備状況

種 別		項 目	1984（昭和 59）年度		2001（平成 13）年度		2018（平成 30）年度		
			都市計画 区域	市街化 区域等	都市計画 区域	市街化 区域等	都市計画 区域	市街化 区域等	
基 幹 公 園	住 区 基 幹 公 園	街区公園	箇所数	62	61	120	118	140	138
			面積 (ha)	12.8	12.7	26.3	25.9	31.4	31.0
		近隣公園	箇所数	9	9	15	15	16	16
			面積 (ha)	19.2	19.2	36.5	36.5	40.9	40.9
		地区公園	箇所数	3	3	3	3	5	5
			面積 (ha)	18.0	18.0	23.0	23.0	31.3	31.3
	都 市 基 幹 公 園	総合公園	箇所数	1	1	1	1	2	1
			面積 (ha)	42.5	42.5	50.5	50.5	398.1	50.5
		運動公園	箇所数	1		1		1	
			面積 (ha)	63.0		180.1		188.6	3.9
大規模 公園	広域公園	箇所数	1		1				
		面積 (ha)	112.1		232.5				
都市緑地		箇所数	15	15	29	28	33	31	
		面積 (ha)	10.2	10.2	31.8	29.6	37.3	32.3	
合 計		箇所数	92	89	170	165	197	191	
		面積 (ha)	277.8	102.6	580.7	165.5	727.6	189.9	
		市民1人 当たりの面積 (㎡/人)	18.1	7.1	34.5	10.2	45.1	12.0	

※1984（昭和 59）年度現在（人口は都市計画区域 153,500 人、市街化区域等 145,300 人）

※2001（平成 13）年度現在（人口は都市計画区域 168,160 人、市街化区域等 161,626 人）

※2018（平成 30）年度現在（人口は都市計画区域 161,400 人、市街化区域等 157,900 人）

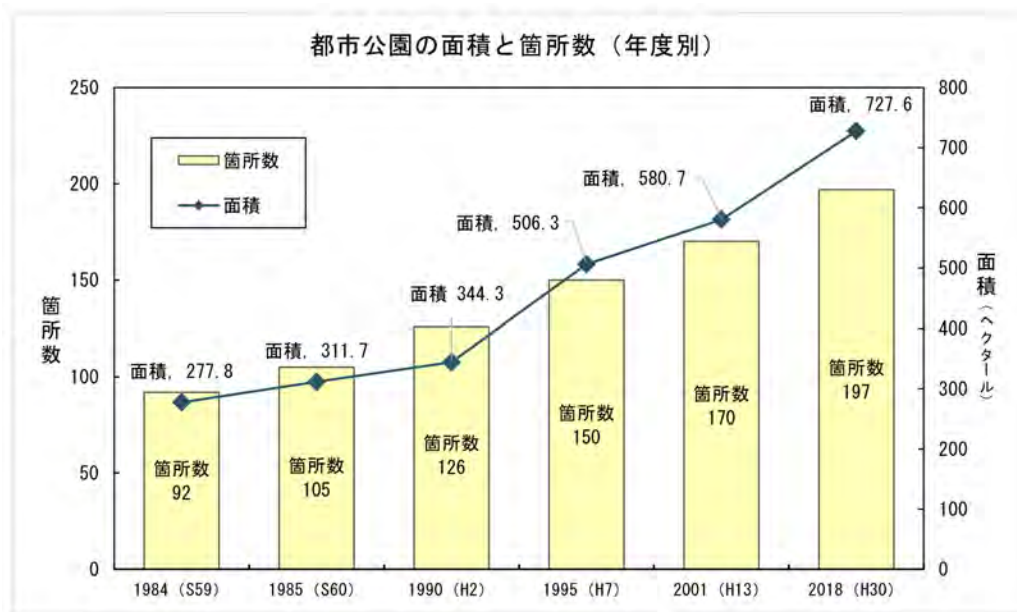
※2011（平成 23）年度より、帯広の森は総合公園として取り扱う。（都市計画決定上は総合公園）



• 市民1人当たりの公園面積

2018（平成30）年度末の市民1人当たりの公園面積（墓園を除く）は、都市計画区域では45.1㎡と、2001（平成13）年度より10.6㎡増加しています。また、市街化区域に限定しても、1.8㎡増の12.0㎡となっています。

国土交通省の「都市公園法運用指針（第3版）」（2017（平成29）年6月）では、住民1人当たりの都市公園面積の標準は、「市全体」と「市街地」それぞれ「10㎡以上」「5㎡以上」を参酌すべき基準として記載されており、本市においては、いずれも運用指針の標準を大きく上回る数値となっています。





⑤ 緑地率 (2018 (平成30) 年度末現在)

	都市計画区域
緑地率	11.8%

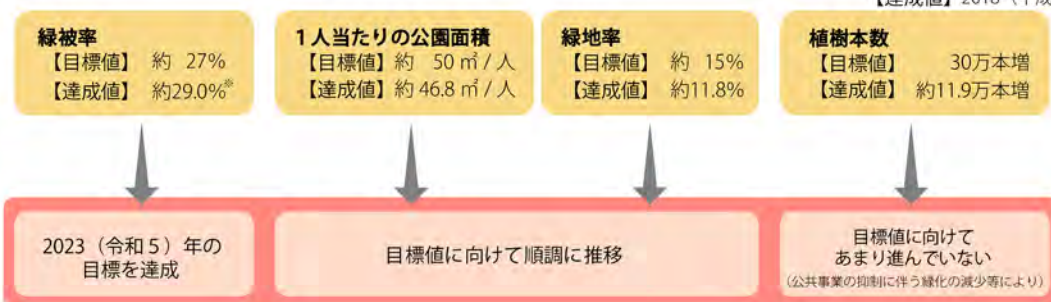
緑地率：都市計画区域に占める緑地の割合を「緑地率」とします。

緑地：都市公園や法・条例等により位置づけられているみどりのほか、福祉センター、学校などの公共施設や街路樹などで持続性が確保されるみどりを、緑地率調査における「緑地」と定義します。

公園・緑地の種類			2001 (平成13) 年度			2018 (平成30) 年度				
			都市計画区域			都市計画区域				
			箇所数	面積 (ha)	緑地率	箇所数	面積 (ha)	緑地率		
緑地	施設緑地	都市公園	街区公園	120	26.3	0.3%	140	31.4	0.3%	
			近隣公園	15	36.5	0.4%	16	40.9	0.4%	
			地区公園	3	23.0	0.2%	5	31.3	0.3%	
			総合公園	1	50.5	0.5%	1	50.5	0.5%	
			運動公園	1	180.1	1.8%	1	188.6	1.8%	
			帯広の森 (総合公園)	1	232.6	2.3%	1	347.6	3.4%	
			都市緑地	29	31.8	0.3%	33	37.3	0.4%	
			墓園	3	14.7	0.1%	3	27.7	0.3%	
		都市公園以外	公共施設緑地	都市公園を除く公共空地	5	0.2	0.0%	9	0.5	0.0%
				都市公園以外で公園緑地に準じる機能を持つ施設	0	0.0	0.0%	0	0.0	0.0%
	地域性緑地等	公共施設緑地	公共団体が設置している市民農園	1	3.5	0.0%	1	3.5	0.0%	
			チビッコ広場	50	6.5	0.1%	54	4.5	0.0%	
			学校の植栽地	34	38.1	0.4%	35	37.4	0.4%	
			公共施設における植栽地等	2	70.0	0.7%	2	70.0	0.7%	
		民間施設緑地	その他の公共施設における植栽地	100	21.8	0.2%	88	22.6	0.2%	
			道路環境施設帯及び植樹帯 (街路樹)		36.9	0.4%		49.4	0.5%	
			市民緑地	0	0.0	0.0%	0	0.0	0.0%	
			公開空地	1	0.1	0.0%	2	0.1	0.0%	
			市民農園 (上記以外)	0	0.0	0.0%	0	0.0	0.0%	
			寺社境内地	0	0.0	0.0%	0	0.0	0.0%	
民間の屋上緑化空間	0	0.0	0.0%	1	0.1	0.0%				
施設緑地合計			366	772.6	7.6%	392	943.4	9.2%		
地域性緑地等	法による地域	緑地保全地区 (都市緑地保全法)	0	0.0	0.0%	0	0.0	0.0%		
		風致地区 (都市計画法)	0	0.0	0.0%	0	0.0	0.0%		
		生産緑地地区 (生産緑地法)	0	0.0	0.0%	0	0.0	0.0%		
		地域森林計画対象民有地 (森林法)	8	0.5	0.0%	76	55.7	0.5%		
		史跡・名勝・天然記念物等の文化財で緑地として扱えるもの (文化財保護法)	0	0.0	0.0%	0	0.0	0.0%		
	協定	緑地協定 (都市緑地保全法)	0	0.0	0.0%	0	0.0	0.0%		
		条例・要綱・契約、協定等による緑地の保全地区や緑地の協定地区	4	20.0	0.2%	4	20.0	0.2%		
	条例等によるもの	協定による工場等の植栽地	603	166.0	1.6%	1,132	189.2	1.9%		
		地域性緑地等合計	615	186.5	1.8%	1,212	264.9	2.6%		
	緑地合計			981	959.1	9.4%	1,604	1,208.3	11.8%	
全体の面積 (ha)			10,210			10,210				

(3) 現計画の4つの目標と進捗状況

【目標値】2023 (令和5) 年度末
【達成値】2018 (平成30) 年度末



*2017 (平成29) 年7月観測の衛星画像により算出。



2 補足資料

資料4 都市公園等の種類

種	類	内 容
住 区 基 幹 公 園	街区公園	主として街区内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で、誘致距離250mを参考とする範囲内で、1箇所当たり面積0.25haを標準として配置する。
	近隣公園	主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で、誘致距離500mを参考とする範囲内で、1箇所当たり面積2haを標準として配置する。
	地区公園	主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で、誘致距離1kmを参考とする範囲内で、1箇所当たり面積4haを標準として配置する。
都 市 基 幹 公 園	総合公園	都市住民全般の休息・観賞・散歩・遊戯・運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で、都市規模に応じ、1箇所当たり面積10～50haを標準として配置する。
	運動公園	都市住民全般の主として運動の用に供することを目的とする公園で、都市規模に応じ1箇所当たり面積15～75haを標準として配置する。
大 規 模 公 園	広域公園	主として一の市町村の区域を超える広域のレクリエーション需要を充足することを目的とする公園で、地方生活圏等広域なブロック単位ごとに、1箇所当たり面積50ha以上を標準として配置する。
	レクリエーション都市	大都市その他の都市圏域から発生する多様かつ選択性に富んだ広域レクリエーション需要を充足することを目的とし、総合的な都市計画に基づき、自然環境の良好な地域を主体に、大規模な公園を核として各種のレクリエーション施設が配置される一団の地域であり、大都市圏その他の都市圏域から容易に到達可能な場所に、全体規模1,000haを標準として配置する。
国 営 公 園		一の都府県の区域を越えるような広域的な利用に供することを目的として国が設置する大規模な公園にあっては、1箇所当たり面積おおむね300ha以上を標準として配置する。国家的な記念事業等として設置するものについては、その設置目的にふさわしい内容を有するように整備する。
緩 衝 緑 地 等	特殊公園	風致公園・墓園等の特殊な公園で、その目的に則し配置する。
	緩衝緑地	大気汚染・騒音・振動・悪臭等の公害防止、緩和若しくはコンビナート地帯等の災害の防止をはかることを目的とする緑地で、公害・災害発生源地域と住居地域・商業地域等とを分離遮断することが必要な位置について、公害・災害の状況に応じ配置する。
	都市緑地	主として都市の自然的環境の保全ならびに改善、都市の景観の向上をはかるために設けられている緑地であり、1箇所当たり面積0.1ha以上を標準として配置する。 ただし、既成市街地等において良好な樹林地等がある場合あるいは植樹により都市に緑を増加又は回復させ都市環境の改善をはかるために緑地を設ける場合にあっては、その規模を0.05ha以上とする。（都市計画決定を行わずに借地により整備し、都市公園として配置するのを含む。）
	緑道	災害時における避難路の確保、都市生活の安全性及び快適性の確保等をはかることを目的として、近隣住区又は近隣住区相互を連絡するように設けられる植樹帯及び歩行者路又は自転車路を主体とする緑地で、幅員10～20mを標準として、公園・学校・ショッピングセンター・駅前広場等を相互に結びように配置する。

(都市公園法に基づく分類)



資料5 みどりの関連計画等の概要

(1) 帯広市公園施設長寿命化計画

① 計画の目的

老朽化した公園施設の増加に伴い、より適正な管理が求められていたことから、複数年にわたる計画調書及び点検調査票を一元化した修繕・改築計画にとりまとめ、公園管理の基礎資料とすることを目的として、2016（平成28）年2月に策定している。

② 計画期間

2016（平成28）年度～2025（令和7）年度

③ 計画の対象範囲

供用開始されている都市計画決定された197公園のうち、主に遊具施設等を有しない公園緑地等を除いて選定した177公園を対象とする。

（街区：139、近隣：16、地区：5、総合：2、運動：1、都市緑地：14）

④ 計画内容

- 与条件の整理
- 基本方針の設定
- 修繕または改築計画の設定
- ライフサイクルコスト（LCC）の算出
- 年次計画の策定
- 公園樹木の維持管理
- 計画の運用



(2) 帯広市街路樹維持管理指針

① 指針の目的

道路整備に伴い増加してきた街路樹の現状や課題をはじめ、その役割や市民意識の変化などを踏まえ、管理の方向性や具体的な取り組みを示し、街路樹の効率的かつ効果的な管理を市民とともにすすめていくことを目的とし、2013(平成25)年3月に策定している。

② 指針の方向性と取り組み

現状・課題・市民要望などを踏まえ、予防保全の視点に立ち、街路樹の機能(都市環境の保全・交通安全の向上・防災の効果・きれいな街並みの創造)を発揮する管理の実施及び市民とすすめる緑化の推進(樹種選定、剪定枝等の資源化など)をはかる。

[街路樹の管理体系]

街路樹の 適正な 管理	具体的な 取り組み 方策	巡回点検の実施	通常巡回点検、特別巡回点検(適宜)
		街路樹剪定の実施	自然な樹形となるよう考慮した剪定、建築限界の確保や危険の防止、病害虫による被害の予防、剪定技術の向上
		病害虫の防除	病害虫発生の予防や早期発見による被害の最小化、周辺環境への影響を考慮した防除方法の判断
		枯損木撤去・補植	枯損などにより回復の見込めない樹木の撤去・補植、樹種の連続性や以後の生育・管理を踏まえた植栽
		支柱の管理	支柱の定期点検・補修、成長して支柱が不要になった場合の撤去
		街路樹の更新	植樹ますの大規模改修は難しいため、補植の際の樹種変更、道路改良工事での植樹帯への改良、樹種の更新
		植樹帯等の管理	生育及び道路状況を踏まえた適切な草刈・除草
		街路樹台帳の整備	路線ごとの樹種や数量・剪定状況などのデータ整理、街路樹台帳の内容・機能の充実
	適切な樹種の選定	樹種選定の考え方	適応性や植栽後の管理・迷惑要因等を考慮した樹種選定
		市民意見の反映	ワークショップなどにおける市民意見を取り入れた樹種選定
資源化の推進	剪定枝の資源化	家畜敷料への活用など、資源化に向けた取り組みの推進	
	落ち葉の資源化	園芸用の腐葉土及び野菜栽培のマルチング材などの資源化の促進、市民理解を得るための取り組みの推進	
市民協働による緑化推進	情報の共有	街路樹に対する市民理解を深めるための情報提供や、市民からの情報提供による樹木異常の早期発見などによる、適正な管理の実施	
	地域と連携した管理	市民による花壇づくりや花事業、管理への参加・協力など、地域と連携した取り組みの推進	
	事業者等との連携	電柱などの道路占用物との共存をはかり、関係事業者などと連携した街路樹管理の実施	



(3) 帯広圏緑のマスタープラン

① 計画の基本方針

帯広圏（帯広市・音更町・芽室町・幕別町）が掲げるそれぞれのまちづくりの理念に基づき、十勝らしい風土の中で快適な生活を営むために、「生活環境の保全」「レクリエーションの場の確保」「安全性の向上」「都市景観の構成」の観点から公園緑地等を系統的に配置し、整備と保全に努める。

② 計画期間

1990（平成2）年度～2015（平成27）年度

③ 計画の対象範囲

帯広圏都市計画区域

(4) 帯広市地域緑化推進計画

① 計画の基本方針

- みどりの配置計画を定め、系統的にみどりを創出
- 公共公益施設の緑化を推進
- 各種法制度を活用し、残されたみどりを保全
- みどりを守り、つくり、育てる緑化思想を市民に普及させ、地域ぐるみで緑化を推進
- 環境緑化に関する調査研究の継続

② 計画期間（第1期～第5期）

1975（昭和50）年度～2000（平成12）年度

③ 計画の対象範囲

帯広市行政区域全域



(5) 緑倍増計画

① 計画の目的

都市地域での総合的な都市緑化や緑地保全の方針及び内容を明確にし、市街地形成の過程で失われていった身近なみどりの増加や回復を目指し、道路や公園など都市レベルのみどりから住宅地のみどりまで、官民一体となったみどり豊かで潤いのある魅力的な都市の形成を目的とし、1995（平成7）年度に策定している。

② 計画期間

1996（平成8）年度～2005（平成17）年度

③ 計画の対象範囲

帯広市の都市計画区域（必要に応じ、都市計画区域外についても配慮）

(6) 帯広の森造成計画

① 計画内容

帯広の森の地形、地質、土壌、植生、動物相、気象などを調査した「帯広の森計画基礎調査報告書」の内容に基づき、1975（昭和50）年3月に策定している。

森づくりの専門家による最初の造成計画（1990（平成2）年に改訂）。

立地区分に応じた目標林型や植栽樹種などを示すほか、帯広の森全体を8ブロックに区分し、区分ごとに整備の方向性を示している。

② 計画の対象範囲

帯広の森全域

<参考> 「帯広の森」建設構想（第二期帯広市総合計画より抜粋）

「帯広の森」建設構想の推進

本市の将来人口想定に基づき、20万市民が、緑と太陽と空間に恵まれた環境の中で、未来の夢を描き、風土に根ざした文化を創造するにふさわしいまちづくりを百年の大計としてすすめていくため、市街化区域をうっそうとした森でつつむグリーン・ベルト「帯広の森」（仮称）の建設を市民ぐるみで推進する。



(7) 帯広の森利活用計画

① 計画内容

帯広の森造成開始から20年が経過し、森の利活用に対する市民の要求が高まったことを受け、1994（平成6）年2月に策定している。

帯広の森造成開始後20年の経過を振り返るとともに、現在の森の姿を分析し、「帯広の森造成計画」の主旨を活かして、今後の帯広の森の方向性を示している。

② 計画の対象範囲

帯広の森全域

(8) 帯広の森 森づくりガイドライン

① 計画の目的

造成開始から40年が経過し、以後も成長を続け多様性を増していく帯広の森においては、将来自らの力で天然更新が促進されるための管理手法の確立や、人と自然が共存するためのきめ細かい育成管理が必要となっていた。

こうした状況を受け、帯広の森づくりの基礎資料である「帯広の森造成計画（1975（昭和50）年策定）」及び「帯広の森利活用計画（1994（平成6）年策定）」の内容を踏まえ、植樹後の経過年数に基づく森のステージや、目指すべき景観別となる森林タイプごとに森を区分し、それぞれの森の時期や特徴に合った管理手法等を示すことで、帯広の森づくりや利活用に関わる管理指針とすることを目的とし、2015（平成27）年3月に策定している。

② 育成管理の対象期間

それぞれの森において、植樹後から森林形成期が終了するまでの60年間。

③ 計画の対象範囲

帯広の森全域

④ 計画内容

- 帯広の森とこれまでの森づくりの概要
- 3つの森林タイプ及び4つの森のステージ
- 基本的な森の育成の流れ
- 目指すべき景観別ガイドライン
 - ・目指す森の姿及びその管理指針
 - ・現状把握のためのチェックリスト
 - ・作業の内容及びスケジュール



資料6 緑化重点地区

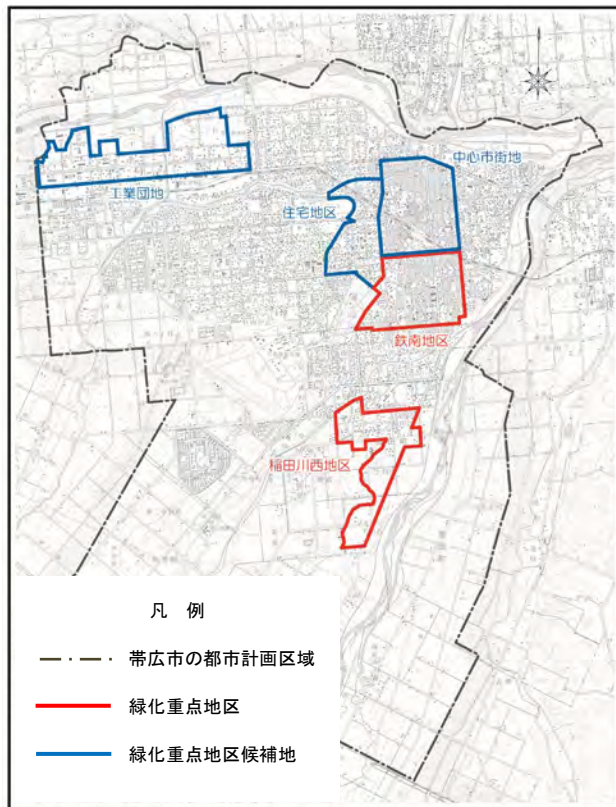
緑化重点地区の指定

選定要件を満たし、まちづくりにおいて特にみどりが必要な地区を緑化重点地区に指定している。

[緑化重点地区・緑化重点地区候補地一覧]

	地区名	選定要件
緑化重点地区	鉄南地区	②⑤⑨
	稲田川西地区	⑥⑦⑧⑨
緑化重点地区候補地	中心市街地	①②⑩
	住宅地区 (中心市街地からウツベツ川までの住宅地域)	②④⑧
	工業団地	⑨⑩

[緑化重点地区対象区域]



<緑化重点地区の選定要件>

- ① 駅前等都市のシンボルとなる地区
- ② 特にみどりの少ない地区
- ③ 風致地区などで都市における風致の維持・創出が特に必要な地区
- ④ 避難地の面積が十分でない等防災上課題があり、緑地の確保及び市街地の緑化を行う必要性が特に高い地区
- ⑤ 緑化の推進の住民意識が高い地区
- ⑥ 市街地開発事業等の予定地区
- ⑦ 緑地協定の締結の促進等により良好な住宅地の形成を促進する地区
- ⑧ 都市公園を核として都市住民の憩いの場の創出をはかる地区
- ⑨ 公共施設と民有地の一体的な緑化及び景観形成により良好な環境の保全及び創出をはかる地区
- ⑩ ヒートアイランド現象の緩和等都市環境の改善が必要な地区



資料7 みどりの経過

(1) みどりのまちづくりの経過

年 度	内 容
1959（昭和34）年度	「第一期総合計画」において、市街地周辺にグリーンベルト的な考えが包含される
1971（昭和46）年度	「第二期総合計画」において、「帯広の森」をまちづくりの主要な施策として位置づける
1974（昭和49）年度	帯広の森と十勝川水系緑地の事業が始まる 「帯広の森造成計画書」を策定
1975（昭和50）年度	第1回帯広の森市民植樹祭を開催。市民約500人が参加 以後、2004（平成16）年までに合計30回、約15万人が植樹祭に参加し、約23万本を植樹
1977（昭和52）年度	小学生で組織した「森の少年隊」が第3回帯広の森市民植樹祭に参加
1982（昭和57）年度	帯広の森が「緑の都市賞」建設大臣賞を受賞
1984（昭和59）年度	第1回花壇コンクールを開催、18団体が参加（以後、毎年開催） 2018（平成30）年には、88団体、約7,045人が参加
1985（昭和60）年度	帯広の森が「緑化推進運動功労者内閣総理大臣賞」を受賞 「緑のまちづくり条例」を制定 緑の保全と創出をはかり、潤いと安らぎのあるまちづくりを推進 「緑化協議制度」を定め、工場等の施設緑化をはかる 以後、2018（平成30）年までに1,154件の協議を行ない、高木を13,111本、中木を337本、 低木を76,674本、小低木を5,236本植樹、芝生等を183,542㎡造成、フラワーポット等を 2,501個設置
1986（昭和61）年度	フラワー通り整備事業を実施（以後、毎年実施） 2018（平成30）年には、38団体、約1,700人が参加 延長5,963mにサルビア・マリーゴールドを植栽
1987（昭和62）年度	「帯広市緑のまちづくり基本計画」を策定 「緑をつくる、まもる、ふれあう」ための施策展開をはかる
1991（平成3）年度	第1回帯広の森市民育樹祭を開催。市民400人が参加。 以後、2005（平成17）年までに合計15回、約1万3千人が育樹祭に参加
1993（平成5）年度	「帯広の森利活用計画書」を策定、帯広の森が「都市景観大賞建設大臣賞」を受賞
1994（平成6）年度	「都市緑地保全法」の改正が行われ、市町村による「緑の基本計画」策定が位置づけられる
1995（平成7）年度	帯広の森20周年記念誌「帯広の森 私たちと帯広の森づくり」を発行 「緑倍増計画」を策定 都市における緑倍増の推進（計画期間 1996（平成8）年～2005（平成17）年） 計画に基づき、慶事記念樹贈呈（1996（平成8）年度より開始）、ポケットパーク整備 （1997（平成9）年度より開始）などを新規事業として実施
1996（平成8）年度	大通公園再整備 市民意見を取り入れたワークショップによる公園再整備事業を開始
1999（平成11）年度	「第五期総合計画」を策定（計画期間 2000（平成12）年～2009（平成21）年）
2001（平成13）年度	「帯広市緑の基本計画」策定作業を開始 市民によるまちづくり検討委員会が組織され、計画案の策定が行われる
2003（平成15）年度	「帯広市緑の基本計画」を策定（計画期間 2004（平成16）年～2023（平成35）年）
2004（平成16）年度	帯広の森30周年記念映像（DVD）「街を抜けると森がある。帯広の森・30年の軌跡」を作成
2006（平成18）年度	「十勝飛行場周辺の帯広の森づくり計画書」を策定 帯広の森30周年記念誌「帯広の森 私たちと帯広の森づくり vol.2」を発行
2008（平成20）年度	鉄南地区及び稲田川西地区を「緑化重点地区」に指定 緑ヶ丘公園児童遊技場を「児童遊園」としてリニューアル開園
2009（平成21）年度	「第六期総合計画」を策定（計画期間 2010（平成22）年～2019（平成31）年）
2010（平成22）年度	帯広の森の育成管理と利活用の拠点施設である「帯広の森・はぐくむ」がオープン 「十勝飛行場周辺の帯広の森づくり基本設計」を策定
2012（平成24）年度	「鉄南地区斜交街路」の緑道化工事に着手（工事期間 2012（平成24）年～2014（平成26）年）
2013（平成25）年度	「緑ヶ丘公園」が北の造園遺産に認定
2014（平成26）年度	帯広の森40周年記念ティーチ・インを開催 帯広の森40周年記念誌「帯広の森 私たちと帯広の森づくり vol.3」を発行 「帯広の森 森づくりガイドライン」を策定
2016（平成28）年度	帯広の森築山「もりの山」を供用開始
2017（平成29）年度	「斜交街路と大通公園」が北の造園遺産に認定
2018（平成30）年度	「中島緑地」の整備に着手
2019（令和元）年度	帯広の森が「アジア都市景観賞」を受賞



(2) 緑地・樹木保全の経過

年 度	内 容
1958（昭和33）年度	緑ヶ丘公園内にある野草園を昔の姿をそのまま残した貴重な場所として開設し、教育や自然観察の場として保全をはかる
1973（昭和48）年度	水光園、帯広神社、帯広農業高校を「北海道自然環境等保全条例」に基づく「環境緑地保護地区」に指定
1976（昭和51）年度	大山緑地（西17条南6丁目の自然林 面積3.7ha）を都市緑地として都市計画決定
1986（昭和61）年度	西帯広ニュータウン緑地（西23条南4丁目の自然林 面積1.1ha）を都市緑地として都市計画決定
1990（平成2）年度	稲田小学校西側カシワ林（面積1.0ha）を「緑のまちづくり条例」に基づく「緑の保全地区」に指定 稲田水源地西側のハルニシなど4本を「緑のまちづくり条例」に基づく「保存樹木」として指定
1992（平成4）年度	大成川緑地（西24条南2丁目の大成川自然林 面積1.4ha）を都市緑地として都市計画決定
1993（平成5）年度	石王緑地（西18条南4丁目の自然林 面積2.3ha）を都市緑地として都市計画決定
1995（平成7）年度	稲田緑地（西14条南40丁目の自然林 面積1.7ha）を都市緑地として都市計画決定 帯広川緑地（西12条南3丁目（共栄通）～西22条南2丁目（南1線橋）の帯広川河畔林 面積42.9ha）を都市緑地として都市計画決定 東3条南13丁目のプラタナスなど5本を「緑のまちづくり条例」に基づく「保存樹木」として指定
1999（平成11）年度	南豪緑地（東2・3条南27・28丁目の人工林 面積0.8ha）を都市緑地として都市計画決定
2002（平成14）年度	自由が丘緑地（西20条南6丁目の帯広の森に隣接した自然林 面積0.76ha）を帯広の森に編入 光南緑地（東4条南17丁目～東9条南21丁目の人工林 面積2.1ha）に光南第3児童公園など0.3haを区域編入
2006（平成18）年度	まなび緑地（清流西1丁目の自然林 面積0.1ha）を都市緑地として都市計画決定
2008（平成20）年度	清流緑地（清流西3丁目の人工林 面積0.44ha）を都市緑地として都市計画決定
2010（平成22）年度	西4条南9丁目のポプラなど4本を「緑のまちづくり条例」に基づく「保存樹木」として指定 東9条南10丁目のトガサワラなど3本を保存樹木指定解除
2013（平成25）年度	若葉の森（西17条南6丁目の自然林 面積1.5ha）を都市緑地として都市計画決定
2017（平成29）年度	中島緑地（西21条北4丁目～西22条北4丁目 面積27.4ha）を都市緑地として都市計画決定



緑化審議会

○委員の紹介（2020（令和2）年3月現在）

＜緑化審議会＞（五十音順、敬称略）

役職	氏名	選出団体等
	あまない 天内 みちこ 道子	帯広市青少年育成者連絡協議会
	えとう 江藤 としお 敏雄	帯広市PTA連合会
	かわしま 川島 まつこ 松子	公募
	きかもと 坂本 ともこ 友子	帯広商工会議所
	しおた 塩田 なおゆき 直之	帯広市校長会
	しぶや 澁谷 よういち 洋一	十勝造園緑化建設業協議会
◎	つじ 辻 おさむ 修	帯広畜産大学
	とりもと 島本 きみひこ 君彦	北海道建築士会十勝支部
	なかた 中田 ちとく 知徳	帯広市商店街振興組合連合会
	のむら 野村 ともひろ 真弘	北海道十勝総合振興局
	ふじもと 藤本 けいこ 景子	国際ソロプチミスト帯広
	ほそかわ 細川 きみこ 君子	帯広市野草園運営委員会
	まつだ 松田 のぶゆき 信幸	帯広市町内会連合会
○	みっかいち 三日市 のりあき 則昭	帯広の森づくり協議会
	めぐろ 目黒 くみこ 久美子	帯広市婦人団体連絡協議会

※役職欄の記号は次のとおり ◎印⇒委員長 ○印⇒委員長職務代理者

○緑化審議会開催経過

	開催日
第1回	2019（平成31）年1月31日
第2回	2019（令和元）年8月1日
第3回	2019（令和元）年10月15日



<緑化審議会専門部会> (五十音順、敬称略)

役職	氏名	選出団体等
	さかちと 坂本 ともこ 友子	帯広商工会議所
	たかはし 高橋 まさすみ 政純	北王コンサルタント(株)
◎	はしちと 橋本 やすし 靖	帯広畜産大学
	まつだ 松田 のぶゆき 信幸	帯広市町内会連合会
	みやざき 宮崎 なおみ 直美	帯広の森・はぐく一む (指定管理者ケイセイ・造景共同企業体)

※役職欄の記号は次のとおり ◎印⇒部会長

○緑化審議会専門部会開催経過

	開催日
第1回	2019(平成31)年4月5日
第2回	2019(令和元)年6月3日
第3回	2019(令和元)年9月4日
第4回	2019(令和元)年10月3日